

令和3年3月市議会定例会

上下水道局 議案説明資料 (当初予算分)

目次

I	令和3年度当初予算(案)総括表	1頁
II	有収水量と料金収入	2頁
III	水道事業会計	
1	令和3年度当初予算(案)総括表	3頁
2	令和3年度建設改良事業	5頁
IV	工業用水道事業会計	
1	令和3年度当初予算(案)総括表	15頁
2	令和3年度建設改良事業	17頁
V	公共下水道事業会計	
1	令和3年度当初予算(案)総括表	19頁
2	令和3年度建設改良事業	21頁

I 令和3年度当初予算（案）総括表

(単位:千円)

		令和3年度①	令和2年度②	差引増減 ①-②	伸率(%)	
水道事業会計	収益的収支	事業収益 A	7,603,270	7,879,277	△ 276,007	△ 3.50
		事業費用 B	7,168,764	7,321,909	△ 153,145	△ 2.09
		差引損益(税込) A-B	434,506	557,368	△ 122,862	△ 22.04
		純利益(税抜)	144,292	291,300	△ 147,008	△ 50.47
	資本的収支	資本の収入 C	2,927,587	2,516,793	410,794	16.32
		資本の支出 D	6,848,536	6,619,053	229,483	3.47
		差引収支(税込) C-D	△ 3,920,949	△ 4,102,260	181,311	4.42

(単位:千円)

		令和3年度①	令和2年度②	差引増減 ①-②	伸率(%)	
工業用水道事業会計	収益的収支	事業収益 A	480,253	482,536	△ 2,283	△ 0.47
		事業費用 B	353,534	363,594	△ 10,060	△ 2.77
		差引損益(税込) A-B	126,719	118,942	7,777	6.54
		純利益(税抜)	121,205	115,985	5,220	4.50
	資本的収支	資本の収入 C	20,001	10,034	9,967	99.33
		資本の支出 D	239,442	213,217	26,225	12.30
		差引収支(税込) C-D	△ 219,441	△ 203,183	△ 16,258	△ 8.00

(単位:千円)

		令和3年度①	令和2年度②	差引増減 ①-②	伸率(%)	
公共下水道事業会計	収益的収支	事業収益 A	16,602,219	16,828,930	△ 226,711	△ 1.35
		事業費用 B	14,654,875	14,897,405	△ 242,530	△ 1.63
		差引損益(税込) A-B	1,947,344	1,931,525	15,819	0.82
		純利益(税抜)	1,739,485	1,741,907	△ 2,422	△ 0.14
	資本的収支	資本の収入 C	7,928,635	8,335,741	△ 407,106	△ 4.88
		資本の支出 D	15,630,910	15,258,207	372,703	2.44
		差引収支(税込) C-D	△ 7,702,275	△ 6,922,466	△ 779,809	△ 11.26

II 有収水量と料金収入

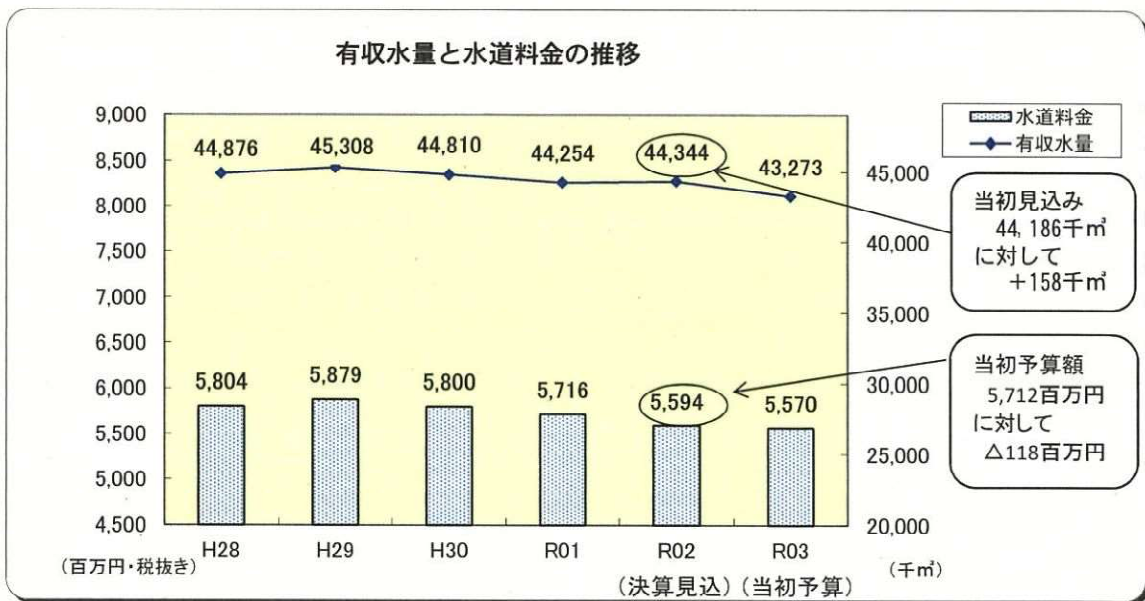
水道の有収水量と料金収入については、28年度以降、人口減による減少要因はあるものの、節水機器普及の落ち着きなどにより、減少幅は鈍化の傾向(天候等による特殊要因を除く)にあったが、元年度からの人口減少率の拡大(H28～H30平均:△0.11%⇒R1:△0.35%⇒R2:△0.44%)に伴い、その減少幅は増加してきている。

また、下水道の有収水量と使用料収入については、未接続世帯からの新規接続などにより、横ばいの傾向にあったが、水道同様、元年度からの人口減少率の拡大とともに、減少傾向となりつつある。

2年度については、コロナの影響によって、単価の安い家事用の使用量が増加した一方、単価の高い事業用の使用量が減少したため、全体で有収水量は増加、料金収入は減少といった例年とは異なる決算を見込んでいる。なお、3年度は、コロナの影響は一定程度収まるものと見込むが、人口減少率は引き続き高く推移するものと思われるため、2年度決算見込額に対し、水道料金は0.4%減(元年度比△2.6%)、下水道使用料は0.3%増(元年度比△1.6%)を見込んだ。

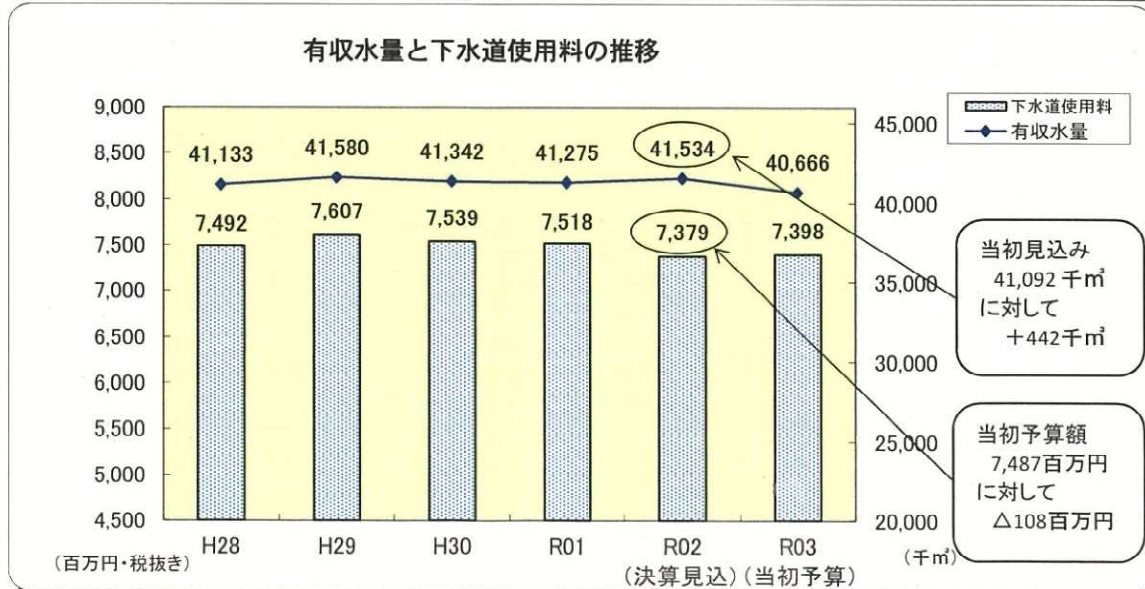
◇有収水量と水道料金の推移(令和2年度は決算見込、3年度は当初予算)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
有収水量(千㎡)	44,876	45,308	44,810	44,254	44,344	43,273
対前年度比(%)	99.99	100.96	98.90	98.76	100.20	97.58
水道料金(税抜:千円)	5,803,736	5,879,233	5,799,937	5,715,987	5,593,534	5,570,000
対前年度比(%)	99.92	101.30	98.65	98.55	97.86	99.58



◇有収水量と下水道使用料の推移(令和2年度は決算見込、3年度は当初予算)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
有収水量(千㎡)	41,133	41,580	41,342	41,275	41,534	40,666
対前年度比(%)	100.43	101.09	99.43	99.84	100.63	97.91
下水道使用料(税抜:千円)	7,491,685	7,607,177	7,538,690	7,518,402	7,379,128	7,398,000
対前年度比(%)	100.51	101.54	99.10	99.73	98.15	100.26



III 水道事業会計

1 令和3年度当初予算(案)総括表

(1) 収益的収支

科 目	令和3年度 当初予算(案)①	令和2年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
水道事業収益	7,603,270	7,879,277	△ 276,007	△ 3.50
営業収益	6,505,655	6,682,777	△ 177,122	△ 2.65
給水収益	6,127,517	6,283,722	△ 156,205	△ 2.49
受託工事収益	12,117	14,537	△ 2,420	△ 16.65
受託事業収益	619	593	26	4.38
その他営業収益	365,402	383,925	△ 18,523	△ 4.82
営業外収益	1,094,782	1,192,080	△ 97,298	△ 8.16
※ 受取利息	100	200	△ 100	△ 50.00
一般会計負担金	25,180	66,134	△ 40,954	△ 61.93
水道加入金	202,862	255,161	△ 52,299	△ 20.50
長期前受金戻入	863,286	867,222	△ 3,936	△ 0.45
雑収益	3,354	3,363	△ 9	△ 0.27
特別利益	2,833	4,420	△ 1,587	△ 35.90
固定資産売却益	2,832	4,419	△ 1,587	△ 35.91
過年度損益修正益	1	1	0	—
水道事業費	7,168,764	7,321,909	△ 153,145	△ 2.09
営業費用	6,366,234	6,423,947	△ 57,713	△ 0.90
原水及び浄水費	597,768	572,780	24,988	4.36
配水及び給水費	836,289	859,783	△ 23,494	△ 2.73
受託工事費	19,290	21,626	△ 2,336	△ 10.80
業務費	477,793	469,898	7,895	1.68
総係費	295,541	261,730	33,811	12.92
減価償却費	3,736,935	3,731,193	5,742	0.15
資産減耗費	402,613	506,932	△ 104,319	△ 20.58
その他営業費用	5	5	0	—
営業外費用	790,080	885,324	△ 95,244	△ 10.76
支払利息及び企業債取扱諸費	641,455	696,839	△ 55,384	△ 7.95
消費税及び地方消費税	148,625	188,485	△ 39,860	△ 21.15
特別損失	11,450	11,638	△ 188	△ 1.62
固定資産売却損	250	438	△ 188	△ 42.92
過年度損益修正損	11,200	11,200	0	—
予備費	1,000	1,000	0	—
予備費	1,000	1,000	0	—
差 引 損 益	434,506	557,368	△ 122,862	△ 22.04
(税抜純利益)	(144,292)	(291,300)	(△ 147,008)	

(2) 資本の収支

科 目	令和3年度 当初予算(案)①	令和2年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
資本の収入	2,927,587	2,516,793	410,794	16.32
企業債	2,310,400	1,914,200	396,200	20.70
企業債	2,310,400	1,914,200	396,200	20.70
他会計出資金	79,807	82,105	△ 2,298	△ 2.80
※ 他会計出資金	79,807	82,105	△ 2,298	△ 2.80
他会計負担金	20,900	18,481	2,419	13.09
他会計負担金	20,900	18,481	2,419	13.09
固定資産売却代金	4,595	6,764	△ 2,169	△ 32.07
固定資産売却代金	4,595	6,764	△ 2,169	△ 32.07
国庫補助金	400,260	398,280	1,980	0.50
国庫補助金	400,260	398,280	1,980	0.50
工事負担金	111,625	96,963	14,662	15.12
工事負担金	111,625	96,963	14,662	15.12
資本の支出	6,848,536	6,619,053	229,483	3.47
建設改良費	4,429,741	4,255,059	174,682	4.11
配水施設事務費	200,486	195,019	5,467	2.80
配水施設費	4,037,391	3,889,989	147,402	3.79
設備費	25,557	0	25,557	皆増
固定資産購入費	160,844	156,156	4,688	3.00
建設負担金	5,463	13,895	△ 8,432	△ 60.68
企業債償還金	2,418,795	2,363,994	54,801	2.32
企業債償還金	2,418,795	2,363,994	54,801	2.32
差 引	△ 3,920,949	△ 4,102,260	181,311	4.42

補てん財源	3,920,949	4,102,260	△ 181,311	△ 4.42
当年度消費税及び地方消費税資本の収支調整額	330,511	313,551	16,960	5.41
過年度分損益勘定留保資金	863,505	1,352,283	△ 488,778	△ 36.14
当年度分損益勘定留保資金	2,726,933	2,436,426	290,507	11.92

[参考]

	令和3年度①	令和2年度②	差引(①-②)
※一般会計繰入金	104,987	148,239	△ 43,252

2 令和3年度 建設改良事業

水道事業会計（建設改良費）	I 水道施設の耐震化		3,068,381千円
	（1）配水幹線の整備	1,775,980千円	
	（2）配水管網の整備	180,800千円	
	（3）老朽水道管の整備	1,046,701千円	
	（4）老朽基幹施設の改良	64,900千円	
	II 危機管理体制の強化		442,386千円
	（1）防災拠点機能の整備	442,386千円	
	III 水源の水質向上		152,844千円
	（1）配水ブロックの整備	152,844千円	
	IV その他		766,130千円
	（1）他工事関連事業	377,030千円	
	（2）人件費、事務費等	389,100千円	
	44億3千万円		

【建設改良費対前年度比較表】

(単位:千円)

事業名		令和3年度 当初予算 ①	令和2年度 当初予算 ②	比較増減①-②	
水道事業会計 (建設改良費)	I 水道施設の耐震化	3,068,381	3,020,350	48,031	
	(1) 配水幹線の整備	事業費	1,775,980	1,373,721	402,259
		概要	・古沢幹線(更新)外 L=3.66Km ・横断等実施設計(北部幹線) ・空洞調査(南部幹線) ・新水橋幹線(新設) L=1.60Km	・城南幹線(更新)外 L=3.34Km ・横断実施設計(北部幹線、南部幹線) ・空洞調査(南部幹線)	
	(2) 配水管網の整備	事業費	180,800	212,800	△ 32,000
		概要	・管網整備 L=1.90Km	・管網整備 L=2.30Km	
	(3) 老朽水道管の整備	事業費	1,046,701	1,286,778	△ 240,077
		概要	・老朽ビニル管等の布設替 L=7.35Km ・老朽添架管の架替 L=0.02Km	・老朽ビニル管等の布設替 L=9.45Km ・老朽添架管の架替 L=0.06Km	
	(4) 老朽基幹施設の改良	事業費	64,900	147,051	△ 82,151
		概要	・下井田新第2水源の場内整備 外 ・蓮花寺中継ポンプ場の設備更新	・新流杉浄水場浸水対策 ・羽根第2水源の場内整備 外 ・上滝浄水場外施設 更新基本設計 ・下井田新水源 改良実施設計	
	II 危機管理体制の強化		442,386	512,431	△ 70,045
(1) 防災拠点機能の整備	事業費	442,386	512,431	△ 70,045	
	概要	・防災拠点管路の整備 L=2.35Km ・遠方監視装置の更新 ・応急給水用資材の購入	・防災拠点管路の整備 L=2.23Km ・遠方監視装置の更新 ・応急給水用資材の購入		
III 水源の水質向上		152,844	120,738	32,106	
(1) 配水ブロックの整備	事業費	152,844	120,738	32,106	
	概要	・細入配水ブロックの整備 ・西笹津加圧場の実施設計	・細入配水ブロックの整備		
IV その他		766,130	601,540	164,590	
(1) 他工事関連事業	事業費	377,030	243,170	133,860	
	概要	・物件移転補償に伴う布設替 L=2.20Km	・物件移転補償に伴う布設替 L=3.46Km		
(2) 人件費、事務費等	事業費	389,100	358,370	30,730	
	概要	・人件費、事務費、固定資産購入費等	・人件費、事務費、固定資産購入費等		
建設改良費 合計		4,429,741	4,255,059	174,682	

I 水道施設の耐震化

(1) 配水幹線の整備

事業費 1,775,980 千円

配水幹線は、老朽化に伴う漏水事故が発生していることに加え、大規模地震発生時においても広い範囲に影響を及ぼすことから、配水幹線の更新及び新たな配水幹線網の整備による耐震化を進めることにより、安定給水の確保と耐震化率の向上を図ります。

令和3年度事業の概要

(ア)配水幹線の更新	1,202,280千円
・ 南部幹線、古沢幹線、針原幹線	L= 3.66km
・ 実施設計業務委託(北部幹線)	1式
・ 空洞調査業務委託(南部幹線)	1式
(イ)配水幹線の新設	573,700千円
・ 新水橋幹線	L= 1.60km

(2) 配水管網の整備

事業費 180,800 千円

大規模地震発生時においても給水を確保するために、新たな配水管整備による配水管のループ化を推進することにより、強靱な水道施設の構築を図ります。

また、新規給水要望に対応するための新たな配水管の整備を図ります。

令和3年度事業の概要

(ア)配水管網の整備	180,800千円
・ 配水管の新設	L= 1.90km

(3) 老朽水道管の整備

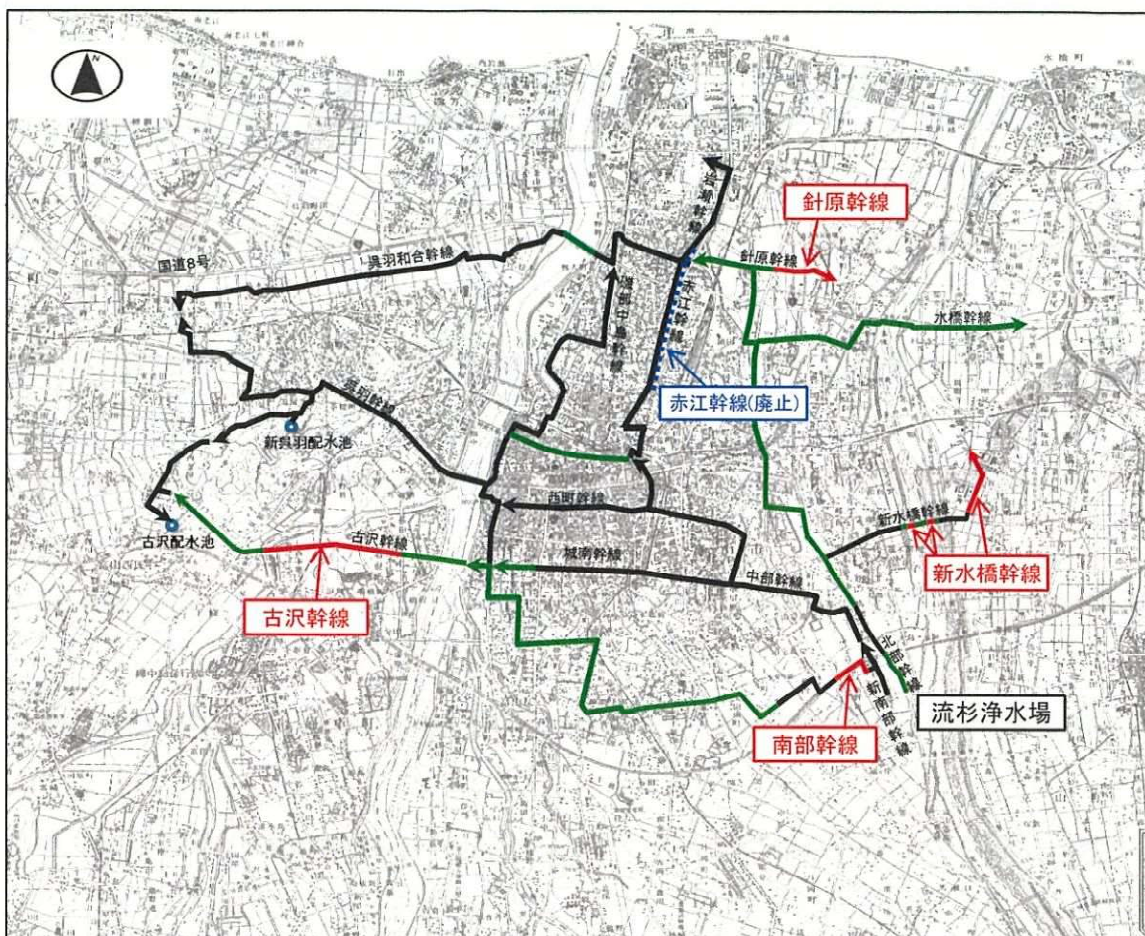
事業費 1,046,701 千円

老朽水道管について、耐用年数、布設経過年数、漏水事故発生状況等を考慮の上、計画的に更新を進めるとともに、大規模地震発生時においても給水を確保するために耐震化を推進することにより、強靱な水道施設の構築を図ります。

令和3年度事業の概要

(ア)老朽水道管の整備	
①老朽ビニル管等の布設替	1,026,131千円
・ 老朽管布設替工事	L=7.35km
②老朽添架管の架替	20,570千円
・ 添架管架替工事	L=0.02km

令和3年度 配水幹線整備箇所図



凡 例	
— (Black line)	令和2年度迄施工済区間
— (Red line)	令和3年度施工予定区間
— (Green line)	令和4年度以降施工予定区間
■ (Blue dashed line)	令和3年度廃止予定区間

配水幹線整備の推移

(第2次富山市総合計画)

	H28実績	H29実績	H30実績	R01実績	R02見込	R03計画	R04計画	R05計画	R06計画	R07計画	R08計画
耐震管延長(km)	41.0	53.1	57.5	60.6	63.9	69.1	73.4	78.2	82.9	88.2	94.7
全体延長(km)	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3
耐震化率(%)	40.1%	51.9%	56.2%	59.2%	62.5%	67.5%	71.7%	76.4%	81.0%	86.2%	92.6%

配水幹線の施工状況



(4) 老朽基幹施設の改良

事業費 64,900 千円

配水池や浄水場などの基幹施設は、その多くが昭和30年代から50年代にかけて建設され、大規模な更新時代を迎えています。

このため、将来の水需要を見極めた基幹施設の再構築とともに、施設の耐震化を計画的に進めることにより、災害に強く、より質の高い水道水の安定供給を図ります。

令和3年度事業の概要

(ア)老朽基幹施設の更新	64,900千円
・ 下井田新第2水源(八尾地域)	場内整備工事 電気設備工事
・ 蓮花寺中継ポンプ場(婦中地域)	自家発電設備更新工事

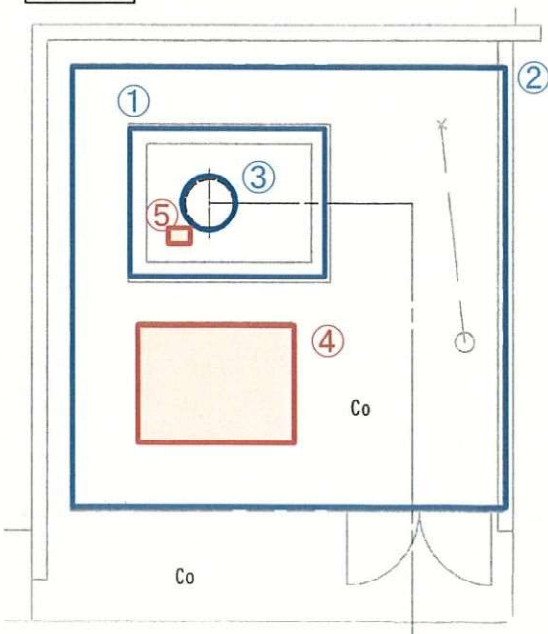
下井田新第2水源施設更新工事

(ア) 老朽基幹施設の更新

位置図



平面図



①	ポンプピット改良	場内整備工事
②	フェンス設置(1.8m)	
③	井戸洗浄	電気設備工事
④	ポンプ制御盤	
⑤	水位計	



Ⅱ 危機管理体制の強化

(1) 防災拠点機能の整備

事業費 442,386 千円

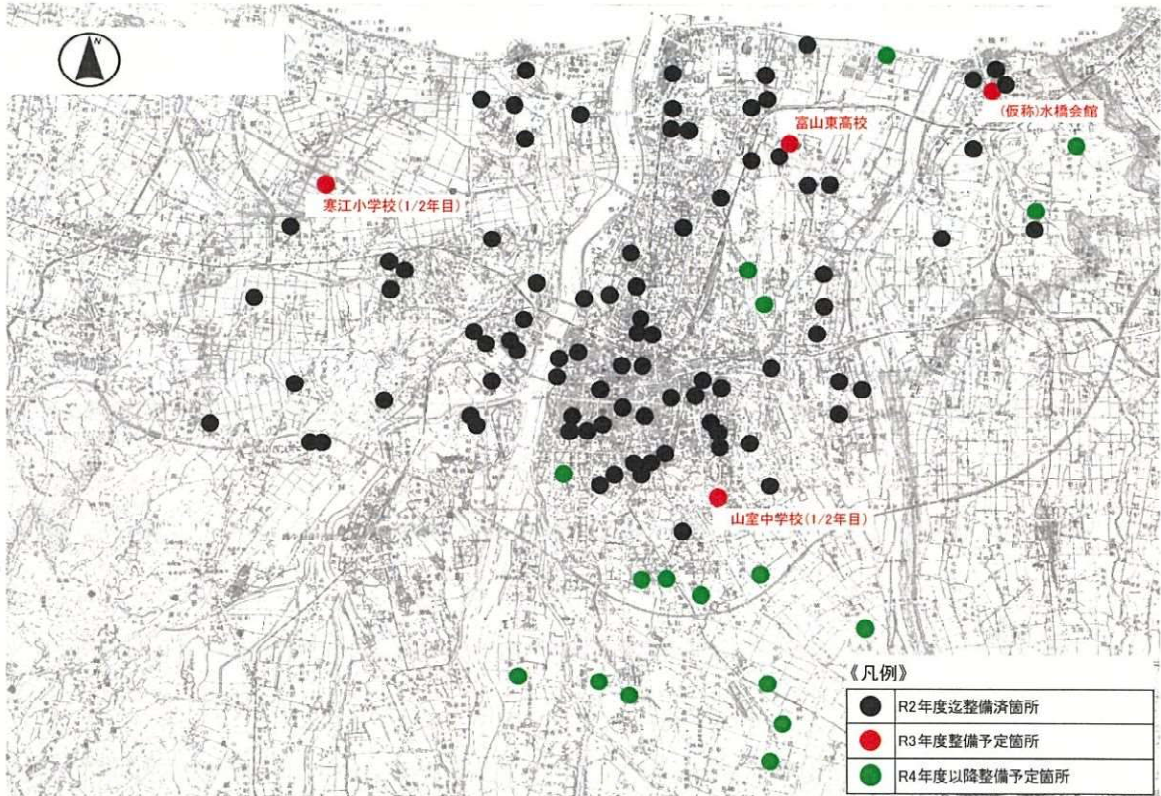
大規模地震発生時に求められる復旧活動の充実を図るため、配水幹線と避難所等の給水拠点を結ぶ管路(配水支管)の耐震化を優先的に推進するとともに、活動拠点の管理機能を充実させることにより、防災拠点の危機管理機能の強化と充実を図ります。

令和3年度事業の概要

(ア)防災拠点管路の整備	367,856千円
・給水拠点接続管耐震化工事(富山地域)	L=2.35km
(イ)遠方監視装置の更新	71,780千円
・遠方監視装置更新工事(婦中地域:計5施設)	
┌ 上井沢浄水場(婦中地域)	遠方監視装置更新工事
├ 上井沢第2水源地(婦中地域)	遠方監視装置更新工事
├ 吉谷加圧場(婦中地域)	遠方監視装置更新工事
├ 鷗谷配水場(婦中地域)	遠方監視装置更新工事
└ 西サービスセンター(婦中地域)	遠方監視装置更新工事
・遠方監視装置更新実施設計	
東サービスセンター(大沢野地域)	1式
(ウ)応急給水用資材の購入	2,750千円
・応急給水用コンテナ	1式

防災拠点機能の整備箇所図

(ア)防災拠点管路の整備



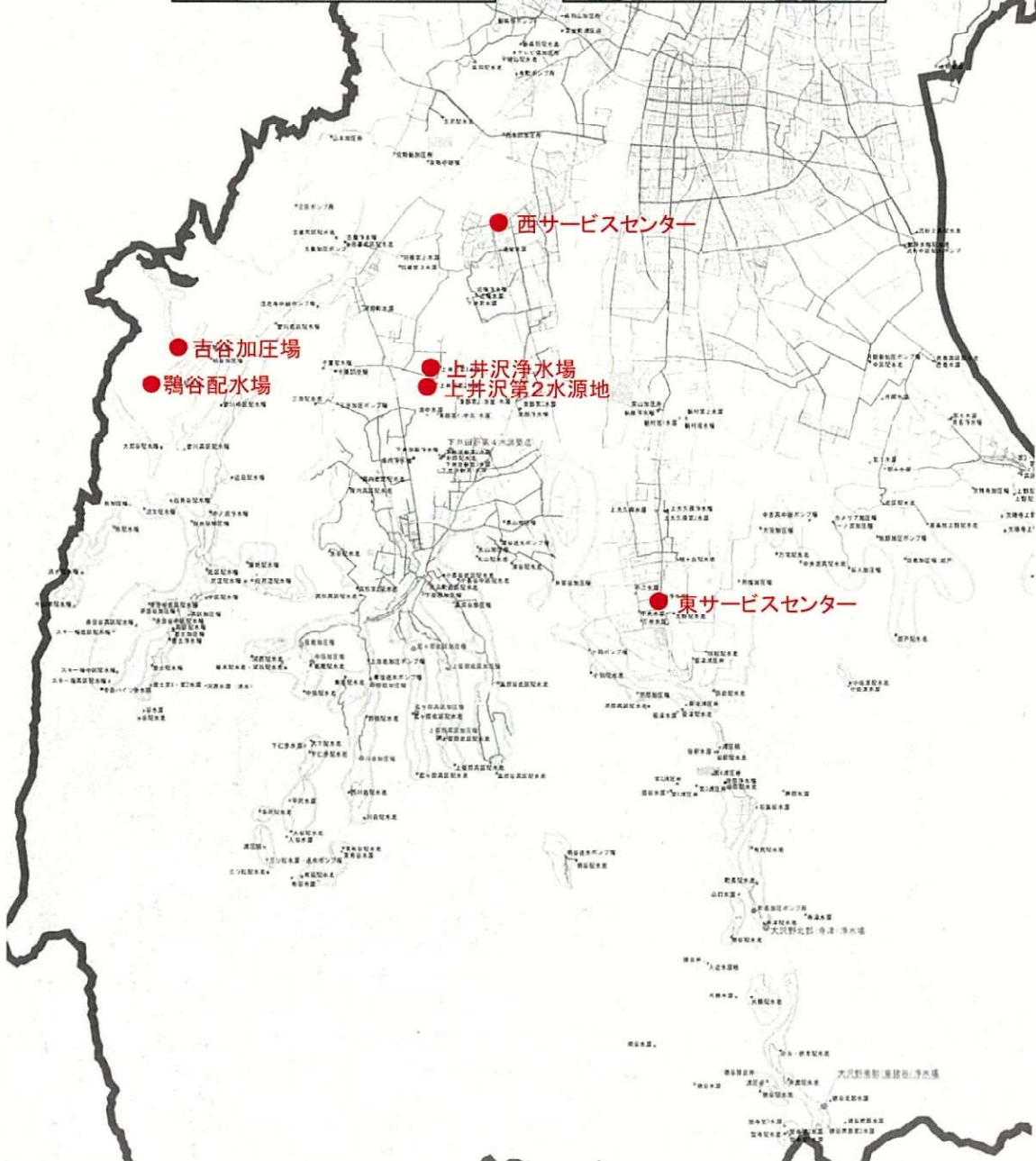
整備計画

令和2年度迄	整備済箇所	87箇所	合計 108箇所
令和3年度	富山東高校	2箇所	
	(仮称)水橋会館		
	山室中学校(1/2年目)	19箇所	
寒江小学校(1/2年目)			
令和4年度 ～令和8年度	整備予定箇所		



防災拠点機能の整備箇所図

(イ) 遠方監視装置の更新



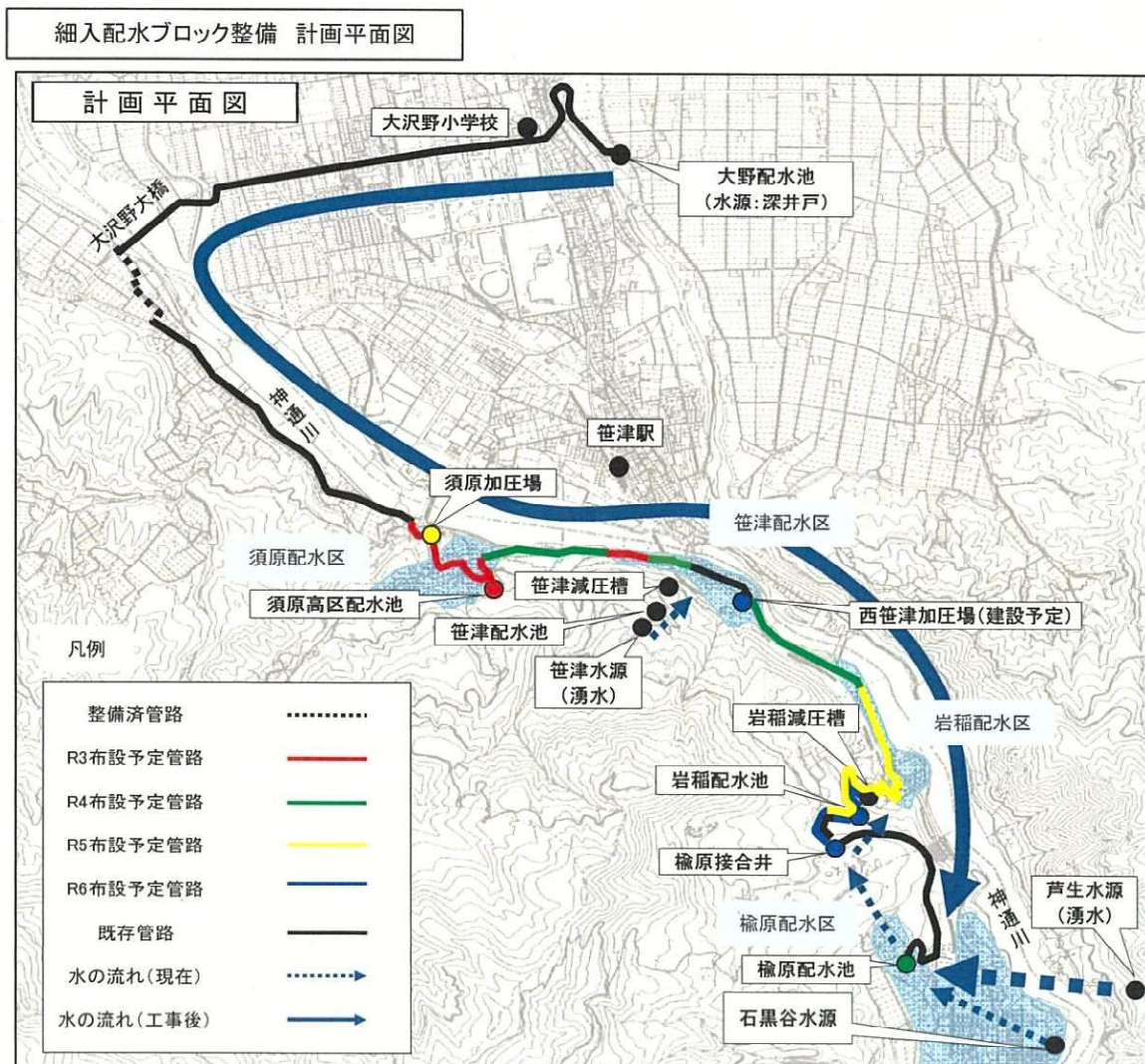
Ⅲ 水源の水質向上 (1) 配水ブロックの整備

事業費 152,844 千円

浄水方法や配水系統をもとに大別した各配水ブロックのうち、水源の水量不足や水質悪化への対応が必要な配水ブロックについて、浄水施設能力の増強や、隣接ブロックの統合による再構築を計画的に進めることにより、安全で質の高い水道水の安定供給を図ります。

令和3年度事業の概要

(ア) 細入配水ブロックの整備	152,844千円
・ 須原地区配水管布設工事	L=0.40km
・ 須原地区送水管布設工事	L=0.55km
・ 西笹津地区配水管布設工事	L=0.20km
・ 須原高区配水場	場内整備工事 場内配管工事



IV 工業用水道事業会計

1 令和3年度当初予算(案)総括表

(1) 収益的収支

(単位：千円)

科 目		令和3年度 当初予算(案)①	令和2年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
工業用水道事業収益		480,253	482,536	△ 2,283	△ 0.47
営業収益		452,008	453,658	△ 1,650	△ 0.36
	給水収益	452,008	452,008	0	—
	受託工事収益	0	1,650	△ 1,650	皆減
営業外収益		28,245	28,878	△ 633	△ 2.19
※	受取利息	200	200	0	—
	一般会計負担金	0	0	0	
	長期前受金戻入	27,456	28,089	△ 633	△ 2.25
	雑収益	589	589	0	—
特別利益		0	0	0	
	その他特別利益	0	0	0	
工業用水道事業費		353,534	363,594	△ 10,060	△ 2.77
営業費用		316,782	321,877	△ 5,095	△ 1.58
	取配水費	150,452	155,004	△ 4,552	△ 2.94
	業務費	16,790	15,305	1,485	9.70
	減価償却費	136,648	139,659	△ 3,011	△ 2.16
	資産減耗費	12,892	10,259	2,633	25.67
	受託工事費	0	1,650	△ 1,650	皆減
営業外費用		34,509	39,817	△ 5,308	△ 13.33
	支払利息及び企業債取扱諸費	11,743	14,947	△ 3,204	△ 21.44
	消費税及び地方消費税	22,766	24,870	△ 2,104	△ 8.46
特別損失		2,143	1,800	343	19.06
	固定資産売却損	2,143	1,800	343	19.06
予備費		100	100	0	—
	予備費	100	100	0	—
差 引 損 益		126,719	118,942	7,777	6.54
(税抜純利益)		(121,205)	(115,985)	(5,220)	

(2) 資本的収支

(単位：千円)

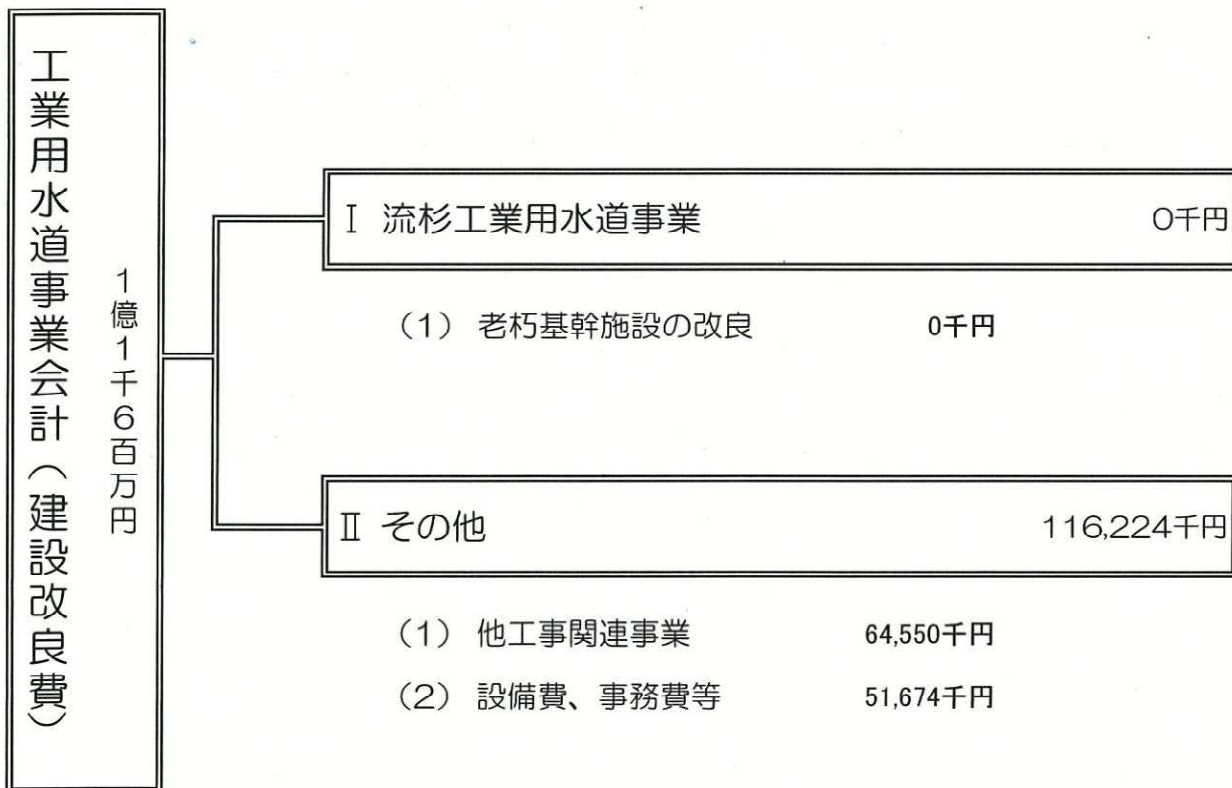
科 目	令和3年度 当初予算(案)①	令和2年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
資本的収入	20,001	10,034	9,967	99.33
企業債	0	0	0	-
企業債	0	0	0	-
固定資産売却代金	1	34	△ 33	△ 97.06
固定資産売却代金	1	34	△ 33	△ 97.06
補助金	0	0	0	-
国庫補助金	0	0	0	-
工事負担金	20,000	10,000	10,000	100.00
工事負担金	20,000	10,000	10,000	100.00
資本的支出	239,442	213,217	26,225	12.30
建設改良費	116,224	73,959	42,265	57.15
設備費	51,674	27,982	23,692	84.67
取配水施設費	64,550	45,977	18,573	40.40
企業債償還金	123,218	139,258	△ 16,040	△ 11.52
企業債償還金	123,218	139,258	△ 16,040	△ 11.52
差 引	△ 219,441	△ 203,183	△ 16,258	△ 8.00

補てん財源	219,441	203,183	16,258	8.00
減債積立金の取崩	24,841	139,258	△ 114,417	△ 82.16
当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額	8,743	5,810	2,933	50.48
過年度分損益勘定留保資金	185,857	58,115	127,742	219.81

〔参考〕

	令和3年度①	令和2年度②	差引(①-②)
※一般会計繰入金	0	0	0

2 令和3年度 建設改良事業



【建設改良費対前年度比較表】

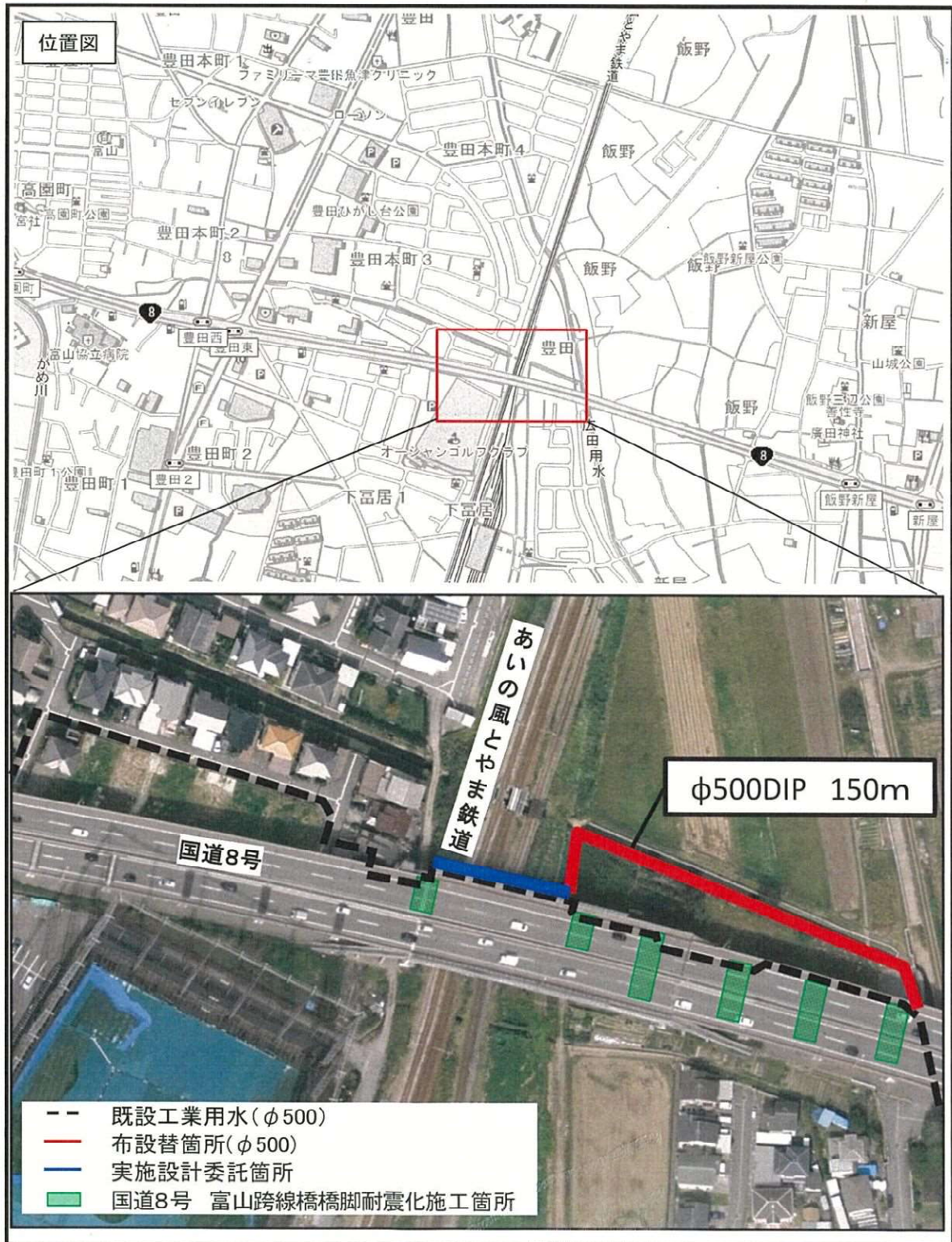
(単位:千円)

事業名		令和3年度 当初予算①	令和2年度 当初予算②	比較増減①-②	
工業用水道事業会計（建設改良費）	I 流杉工業用水道事業				
	(1) 老朽基幹施設の改良	事業費	2,827	△ 2,827	
		概要		・流杉浄水場浸水対策	
	II その他				
	(1) 他工事関連事業	事業費	64,550	43,150	21,400
		概要	・物件移転補償に伴う布設替 L=0.15Km ・実施設計(あいの風とやま鉄道横断)	・物件移転補償に伴う布設替 L=0.15Km	
(2) 設備費、事務費等	事業費	51,674	27,982	23,692	
	概要	・固定資産購入費、事務費等	・固定資産購入費、事務費等		
建設改良費 合計		116,224	73,959	42,265	

1 その他
 (1) 他工事関連事業

事業費 64,550 千円

国道8号豊田新屋立体事業において支障となる配水管の移転に係る実施設計及び工事を実施します。



V 公共下水道事業会計

1 令和3年度当初予算(案)総括表

(1) 収益的収支

(単位:千円)

科 目	令和3年度 当初予算(案)①	令和2年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
下水道事業収益	16,602,219	16,828,930	△ 226,711	△ 1.35
営業収益	11,876,628	12,028,225	△ 151,597	△ 1.26
※ 下水道収益	8,137,800	8,235,700	△ 97,900	△ 1.19
※ 一般会計負担金	3,391,634	3,441,459	△ 49,825	△ 1.45
受託事業収益	231,698	237,066	△ 5,368	△ 2.26
その他営業収益	115,496	114,000	1,496	1.31
営業外収益	4,725,591	4,800,705	△ 75,114	△ 1.56
受取利息	100	100	0	0.00
※ 一般会計負担金	1,317,217	1,415,324	△ 98,107	△ 6.93
※ 一般会計補助金	62,310	76,790	△ 14,480	△ 18.86
国庫補助金	5,000	16,500	△ 11,500	△ 69.70
長期前受金戻入	3,276,691	3,242,416	34,275	1.06
雑収益	64,273	49,575	14,698	29.65
特別利益	0	0	0	0.00
固定資産売却益	0	0	0	0.00
下水道事業費	14,654,875	14,897,405	△ 242,530	△ 1.63
営業費用	12,632,359	12,610,066	22,293	0.18
管渠費	228,980	264,500	△ 35,520	△ 13.43
ポンプ場費	281,430	286,025	△ 4,595	△ 1.61
浜黒崎浄化センター費	1,283,948	1,307,443	△ 23,495	△ 1.80
倉垣浄水園費	56,175	56,226	△ 51	△ 0.09
水橋浄化センター費	177,215	179,462	△ 2,247	△ 1.25
大沢野浄化センター費	121,745	123,562	△ 1,817	△ 1.47
大山処理場費	59,666	58,309	1,357	2.33
小見浄化センター費	14,547	13,557	990	7.30
山田浄化センター費	22,831	20,574	2,257	10.97
楡原浄化センター費	9,337	11,651	△ 2,314	△ 19.86
南部地区浄化センター費	7,582	9,785	△ 2,203	△ 22.51
流域下水道管理費負担金	822,102	787,882	34,220	4.34
水洗化促進費	24,370	24,724	△ 354	△ 1.43
排水設備指導費	31,511	30,013	1,498	4.99
業務費	247,268	238,840	8,428	3.53
総係費	194,777	192,739	2,038	1.06
減価償却費	8,712,585	8,695,229	17,356	0.20
資産減耗費	109,372	77,630	31,742	40.89
地域し尿処理施設費	9,458	9,921	△ 463	△ 4.67
農業集落排水事業費	214,616	219,253	△ 4,637	△ 2.11
林業集落排水事業費	1,744	1,641	103	6.28
富山八尾中核工業団地排水施設管理費	1,100	1,100	0	0.00
営業外費用	2,005,508	2,270,339	△ 264,831	△ 11.66
支払利息及び企業債取扱諸費	1,717,119	1,954,533	△ 237,414	△ 12.15
消費税及び地方消費税	286,389	311,306	△ 24,917	△ 8.00
雑支出	2,000	4,500	△ 2,500	△ 55.56
特別損失	16,008	16,000	8	0.05
固定資産売却損	8	0	8	皆増
過年度損益修正損	16,000	16,000	0	0.00
予備費	1,000	1,000	0	0.00
予備費	1,000	1,000	0	0.00
差引損益	1,947,344	1,931,525	15,819	0.82
(税抜純利益)	(1,739,485)	(1,741,907)	(△ 2,422)	

(2) 資本の収支

(単位:千円)

科 目	令和3年度 当初予算(案)①	令和2年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
資本の収入	7,928,635	8,335,741	△ 407,106	△ 4.88
企業債	4,100,802	4,660,948	△ 560,146	△ 12.02
企業債	2,879,600	2,734,600	145,000	5.30
資本費平準化債	0	1,000,000	△ 1,000,000	皆減
借換債	1,221,202	926,348	294,854	31.83
国庫補助金	1,815,250	1,726,000	89,250	5.17
国庫補助金	1,815,250	1,726,000	89,250	5.17
他会計出資金	1,797,331	1,730,187	67,144	3.88
※ 他会計出資金	1,797,331	1,730,187	67,144	3.88
負担金及び分担金	210,312	213,378	△ 3,066	△ 1.44
工事負担金	120,000	122,850	△ 2,850	△ 2.32
下水道整備負担金	90,312	90,528	△ 216	△ 0.24
貸付金返還金	4,911	5,228	△ 317	△ 6.06
貸付金返還金	4,911	5,228	△ 317	△ 6.06
固定資産売却代金	29	0	29	皆増
固定資産売却代金	29	0	29	皆増
資本の支出	15,630,910	15,258,207	372,703	2.44
建設改良費	5,442,253	5,192,255	249,998	4.81
公共下水道築造事務費	156,957	148,206	8,751	5.90
公共下水道築造費	4,056,500	3,573,000	483,500	13.53
流域関連公共下水道築造事務費	4,864	6,581	△ 1,717	△ 26.09
流域関連公共下水道築造費	160,000	123,000	37,000	30.08
特定環境保全公共下水道築造事務費	5,616	17,762	△ 12,146	△ 68.38
特定環境保全公共下水道築造費	119,000	499,000	△ 380,000	△ 76.15
流域関連特定環境保全公共下水道築造事務費	14,720	8,450	6,270	74.20
流域関連特定環境保全公共下水道築造費	437,000	219,000	218,000	99.54
単独改良費	328,000	426,876	△ 98,876	△ 23.16
受益者負担金徴収事務費	12,960	16,216	△ 3,256	△ 20.08
固定資産購入費	84,136	117,664	△ 33,528	△ 28.49
建設負担金	62,500	36,500	26,000	71.23
企業債償還金	10,181,657	10,055,952	125,705	1.25
企業債償還金	8,960,455	9,129,604	△ 169,149	△ 1.85
企業債償還金(一括償還分)	1,221,202	926,348	294,854	31.83
投資	7,000	10,000	△ 3,000	△ 30.00
長期貸付金	7,000	10,000	△ 3,000	△ 30.00
差 引	△ 7,702,275	△ 6,922,466	△ 779,809	△ 11.26

補てん財源	7,702,275	6,922,466	779,809	11.26
当年度分消費税及び地方消費税資本の収支調整額	273,951	261,458	12,493	4.78
過年度分損益勘定留保資金	1,283,625	927,680	355,945	38.37
当年度分損益勘定留保資金	6,144,699	5,733,328	411,371	7.18

〔参考〕

	令和3年度①	令和2年度②	差引(①-②)
※一般会計繰入金	6,568,492	6,663,760	△ 95,268

2 令和3年度建設改良事業

公共下水道事業会計（建設改良費） 54億4千2百万円	I 公共下水道（污水）の整備		2,933,000千円
	(1) 下水道施設（管渠）の改築	1,221,000千円	
	(2) 下水道施設（処理場）の改築	599,000千円	
	(3) 資源の循環	266,000千円	
	(4) 処理場の統廃合と再編	360,000千円	
	(5) 下水道整備困難地区の解消	487,000千円	
	II 公共下水道（雨水）の整備		1,218,500千円
	(1) 雨水幹線の整備	778,000千円	
	(2) 合流式下水道の改善	415,000千円	
	(3) 建設部による浸水対策事業	25,500千円	
	III 危機管理体制の強化		646,000千円
	(1) 防災対策の強化	646,000千円	
	IV その他		644,753千円
	(1) 他工事関連事業	328,000千円	
	(2) 人件費、事務費等	316,753千円	

【建設改良費対前年度比較表】

(単位:千円)

事業名			令和3年度 当初予算①	令和2年度 当初予算②	比較増減 ①-②
I 公共下水道(汚水)の整備			2,933,000	2,773,500	159,500
(1) 下水道施設(管渠)の改築	事業費		1,221,000	1,303,000	△ 82,000
	概要	改築延長L=5.2km(粟島町一丁目、城北町、岩瀬白山町、今市、浜黒崎、東福沢外)		改築延長L=5.3km(大泉本町二丁目、牛島本町二丁目、豊田町一丁目、海岸通外)	
(2) 下水道施設(処理場)の改築	全体	事業費	599,000	784,500	△ 185,500
	浜黒崎浄化センター	事業費	445,000	116,000	329,000
		概要	消化タンク基本設計業務、第一系列水処理設備改築(その1)工事、第一系列水処理施設船体補修実施設計業務、管理本館建築設備改築実施設計業務、送風機設備改築実施設計業務		汚泥循環ポンプ外設備改築工事、汚泥処理施設改築実施設計業務、水処理施設改築実施設計業務
	その他処理場	事業費	29,000	37,000	△ 8,000
		概要	大山下水処理場汚泥脱水設備改築実施設計業務、水橋浄化センター自家発電設備改築実施設計業務、大沢野浄化センター脱水機棟設備改築実施設計業務		大山下水処理場外ストックマネジメント計画策定業務
	ポンプ場	事業費	100,000	595,500	△ 495,500
概要	岩瀬汚水中継ポンプ場改築、速星雨水ポンプ場外ストックマネジメント調査・計画策定業務		岩瀬汚水中継ポンプ場改築		
神左流域下水道建設負担金			25,000	36,000	△ 11,000
(3) 資源の循環	事業費		266,000	33,000	233,000
	概要		下水熱導入工事	下水熱導入工事	
(4) 処理場の統廃合と再編	事業費		360,000	287,000	73,000
	概要		四方第一処理分区管渠築造工事 L=650m 倉垣浄水圏外構工事	月岡処理分区管渠築造工事 L=900m 月岡緑町汚水中継ポンプ所築造工事 四方第一処理分区管渠築造工事 L=500m	
(5) 下水道整備困難地区の解消	事業費		487,000	366,000	121,000
	概要		新設延長L=2,360m 公共樹設置 (婦中、八尾、大沢野地域)	新設延長L=1,220m 公共樹設置 (婦中、八尾、大沢野地域)	
II 公共下水道(雨水)の整備			1,218,500	1,128,000	90,500
(1) 雨水幹線の整備	事業費		778,000	792,000	△ 14,000
	概要		雨水幹線:L=330m 貯留池:1箇所	雨水幹線:L=310m 貯留池:1箇所	
(2) 合流式下水道の改善	事業費		415,000	336,000	79,000
	概要		管渠改築(浸水対策):L=410m	管渠改築(浸水対策):L=330m	
(3) 建設部による浸水対策事業	事業費		25,500		25,500
	概要		下富居排水区浸水対策土質調査・実施設計業務		
III 危機管理体制の強化			646,000	548,500	97,500
(1) 防災対策の強化	事業費		646,000	548,500	97,500
	概要		耐震化工事 下水処理場、雨水ポンプ場耐震診断業務	耐震化工事 下水処理場耐震診断業務	
IV その他			644,753	742,255	△ 97,502
(1) 他工事関連事業	事業費		328,000	419,000	△ 91,000
	概要		物件移転補償に伴う布設替	物件移転補償に伴う布設替	
(2) 人件費、事務費等	事業費		316,753	323,255	△ 6,502
	概要		人件費、事務費、固定資産購入費等	人件費、事務費、固定資産購入費等	
建設改良費 合計			5,442,253	5,192,255	249,998

公共下水道事業会計(建設改良費)

I 公共下水道(汚水)の整備

(1) 下水道施設(管渠)の改築

事業費 1,221,000 千円

(うち補助事業 786,000 千円)

汚水を確実、安定、持続的に処理場へ流すために、劣化状況等の調査を行い、計画的に管渠等の改築を進めていきます。

令和3年度事業の概要

(ア)下水道管の改築

	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度
調査・計画延長	約33km	約50km	約50km
改築工事延長	6.4km	7.0km	5.2km

①調査・計画

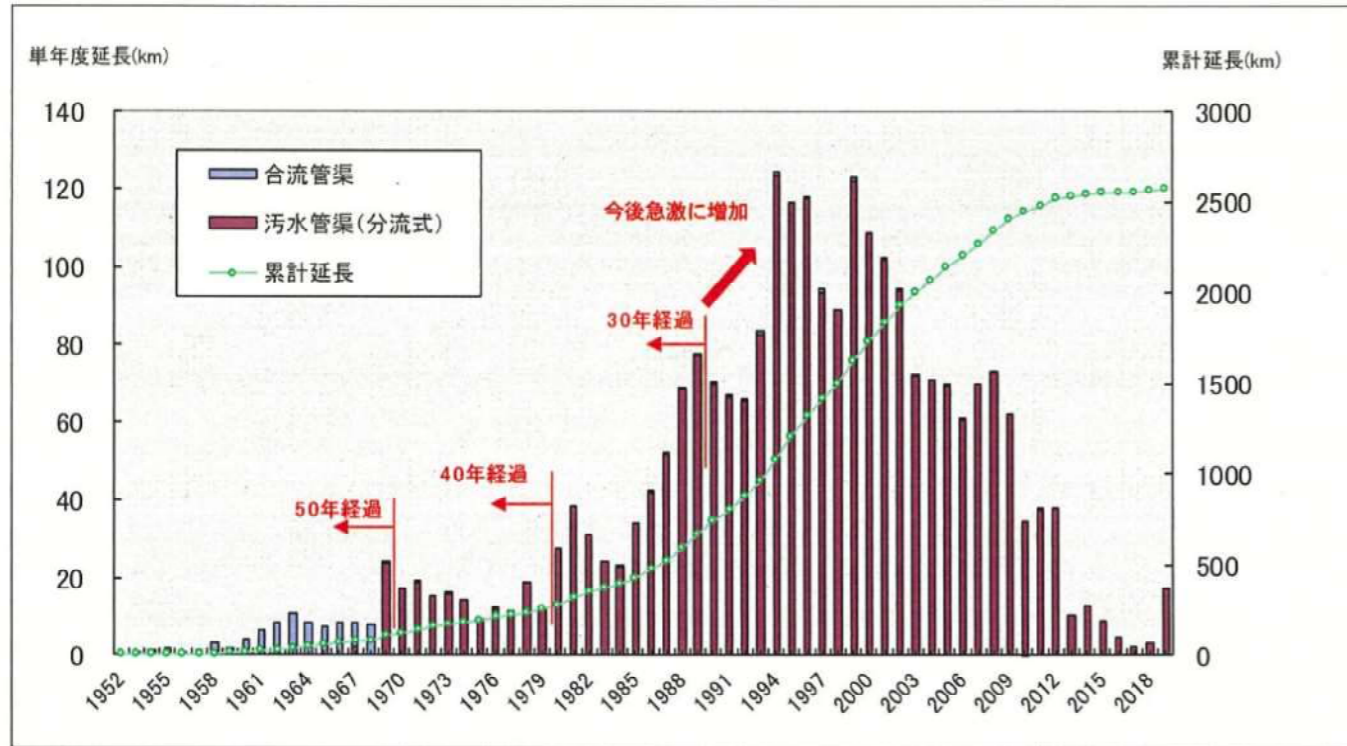
富山市下水道ストックマネジメント計画に基づき、不二越処理分区外の管渠を対象に調査を実施。

②改築工事

令和2年度に引き続き、いたち川第四処理分区、岩瀬処理分区、奥田処理分区、草島処理分区、浜黒崎処理分区及び大山処理区を対象に老朽化が著しく、改築の優先度が高い管の改築工事を実施。

老朽下水道管対策事業

1. 富山市の下水道管路布設年度 (R01 末)



コンクリート管の内訳 (R08末時点)

単位: km

経過年数	～50年	49年～40年	39年～30年	29年～20年	19年～10年	9年～1年	合計
汚水管渠(分流式)	129.5	192.9	167.5	9.6	6.0	0.0	505.4
累計延長	129.5	322.4	489.8	499.4	505.4	505.4	-
累計割合	26%	64%	97%	99%	100%	100%	-

※管渠延長を算出する上での基準年は、H26年度末時点のもの

2. 今後の老朽下水道管対策の進め方

1) 合流式下水道区域

「下水道浸水被害軽減総合事業」と「下水道総合地震対策事業」の事業制度も活用し、流下能力増強や耐震化も合わせた効率的な老朽下水道管の改築を進めていく。

2) 分流式下水道区域

下水道管は布設経過年数30年頃から道路陥没の頻度が高まる。よって対策事業は、30年以上経過した管から「下水道ストックマネジメント支援制度」を活用し、テレビカメラ調査により管の劣化状況を確認し改築実施計画を策定した上で、交付金により劣化状況の著しい老朽下水道管の改築を耐震化も合わせて進めていく。

3. 調査及び工事の進捗状況

富山市ストックマネジメント計画に基づき、布設経過年数や管種による劣化の進み具合に加え、機能不全に陥った場合の社会的影響度を考慮し、重要と判断された下水道管の調査を行う。

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	
調査・点検	延長(KM)	3.7	19.0	22.5	49.0	34.2	25.8	58.4	60.9	47.1	33.3	50.0	50.0
	事業費(百万円)	14	74	62	133	105	73	191	215	121	102	219	200
	累計延長(KM)	3.7	22.8	45.3	94.3	128.5	154.3	212.7	273.6	320.7	354.0	404.0	454.0
	累計事業費(百万円)	14	88	150	283	388	461	652	866	987	1,090	1,309	1,509
工事 (設計・補償金)	延長(KM)	0	0	0.8	1.9	1.7	1.6	2.4	2.2	6.3	6.4	7.0	5.2
	事業費(百万円)	0	0	94	235	261	335	402	560	1,116	845	1,327	897
	累計延長(KM)	0.0	0.0	0.8	2.7	4.3	5.9	8.3	10.5	16.8	23.2	30.2	35.4
	累計事業費(百万円)	0	0	94	329	590	925	1,327	1,887	3,002	3,847	5,174	6,111
全体事業費	老朽管事業費(百万円)	14	74	156	368	366	408	593	775	1,236	947	1,546	1,137
	累計(百万円)	14	88	244	612	978	1,386	1,979	2,754	3,990	4,937	6,483	7,620

4. 施工実績

調査・計画

調査年度	処理区分及び団地名	調査延長(km)	健全度 I、II 延長(km)	健全度 I、II 割合
H22	浜島崎処理区分(田畑新町)	3.7	0.5	13.0%
H23	熊野処理区分(若竹町)	5.1	4.3	84.9%
H23	水橋第1処理区分(水橋花の井町)	2.4	1.5	61.5%
H23	豊田処理区分(米田すずかけ台)	3.3	0.1	3.7%
H23	向新庄処理区分(藤木新町)	1.9	0.5	26.1%
H23	月岡処理区分(月見町)	6.3	0.1	1.6%
H24	水橋第1処理区分(水橋中新町)	3.7	0.0	0.7%
H24	富原処理区分(千成町)	2.2	0.2	10.3%
H24.25	いたち川第3処理区分	60.4	3.0	5.0%
H25	向新庄処理区分(藤の木園町)	2.3	0.1	4.3%
H25	富原処理区分(上富原新町)	1.5	0.1	6.7%
H25	不二越処理区分(内陽台)	1.5	0.3	21.0%
H26.27	いたち川第2処理区分	54.7	9.3	16.9%
H27	水橋第2処理区分(水橋東部)	4.3	1.3	30.2%
H28	いたち川第4処理区分	12.0	1.1	9.5%
H28	富原処理区分(糠田)	1.6	0.3	19.5%
H28	岩瀬処理区分	4.8	0.2	5.0%
H28	豊田処理区分	40.0	3.8	9.4%
H29	豊田処理区分	33.7	2.7	8.0%
H29	向新庄処理区分(藤の木台)	2.8	0.5	17.9%
H29	浜島崎処理区分	24.4	2.9	11.7%
H30	岩瀬処理区分	20.5	0.2	1.2%
H30	浜島崎幹線外	26.6	1.0	3.9%
R01	岩瀬処理区分	9.6	0.2	2.2%
R01	本郷不二越幹線外	25.0	1.5	5.9%
R01	豊田処理区分	5.5	0.4	7.3%
R01	豊田処理区分	21.6	1.7	7.9%
R02	豊田処理区分	50.0	計画未査定	
調査済み延長合計		431.5	-	-
計画済み延長合計		381.5	38.0	10.0%

工事

処理区分及び団地	R01まで 施工済延長 (km)	R02 施工済延長 (km)	R03 施工予定延長 (km)
浜島崎処理区分(田畑新町)	0.8	-	-
熊野処理区分(若竹町)	5.1	-	-
水橋第1処理区分(水橋花の井町)	1.7	-	-
豊田処理区分(米田すずかけ台)	0.1	-	-
向新庄処理区分(藤木新町)	0.5	-	-
月岡処理区分(月見町)	0.1	-	-
水橋第1処理区分(水橋中新町)	0.0	-	-
富原処理区分(千成町)	1.4	-	-
いたち川第3処理区分	1.7	-	-
向新庄処理区分(藤の木園町)	0.3	-	-
いたち川第2処理区分	5.9	3.0	-
水橋第2処理区分(水橋東部)	1.0	-	-
いたち川第4処理区分	1.0	0.2	0.1
富原処理区分(糠田)	0.3	-	-
岩瀬処理区分	0.2	-	0.9
豊田処理区分	1.7	1.9	-
豊田処理区分	-	-	3.0
向新庄処理区分(藤の木台)	0.5	-	-
浜島崎処理区分	0.8	1.8	0.2
草島処理区分	-	-	0.1
大山処理区分	-	-	1.1
計	23.1	7.0	5.2

富山市公共下水道施工予定箇所図

(汚 水)

管渠新設 (流特)

四方第一処理分区 つばめ野一丁目地区 (φ 350) L=650m

管渠改築 (流公)

草島処理分区 今市地区 (φ 250~400) L=80m

資源循環 (公共)

いたち川第四処理分区 下水熱導入工事 (熱輸送管) L=260m
下水熱導入工事委託 (機械・電気設備)

地震対策 (公共)

松川処理分区 諏訪川原幹線耐震化 (φ 800~1,400) L=230m

管渠新設 (流公)

布設要望 (φ 200) L=300m

管渠新設 (流特)

布設要望 (φ 150) L=300m

管渠改築 (特環)

浜黒崎処理分区 浜黒崎地区 (φ 200) L=150m

管渠改築 (公共)

岩瀬処理分区外 岩瀬白山町地区 (φ 200~250) L=920m
奥田処理分区外 栗島町一丁目地区 (φ 200~250) L=3,020m

地震対策 (公共)

第一次緊急通行確保路線 人孔耐震化 N=100箇所

管渠新設 (公共)

富居処理分区 新庄町地区 (φ 200) L=400m

管渠改築 (公共)

大山処理区 管渠改築 (φ 200~600) L=1,060m

管渠新設 (公共)

布設要望 (φ 200) L=530m

管渠新設 (特環)

布設要望 (φ 150) L=300m
整備困難 (φ 150) L=300m



凡 例	
公 共 下 水 道 事 業	令和元年度完成工事箇所
	令和2年度工事箇所
	令和3年度工事箇所
参 考	令和4年度以降工事予定箇所
	処理区域界
参 考	市街化区域
	都市計画区域
	流域下水道幹線

I 公共下水道(汚水)の整備

(2) 下水道施設(処理場)の改築

事業費	599,000 千円
(うち補助事業)	563,000 千円

汚水を確実、安定、持続的に処理するため、施設の老朽度や将来の普及率を勘案しながら、計画的に施設の改築や増設を行います。

令和3年度事業の概要

(ア)下水処理場の改築 499,000 千円

① 浜黒崎浄化センター 445,000 千円

・第1系列水処理設備改築(その1)工事(継続 R3~R4:1年目)
継続事業費 (単位:千円)

	R3年度	R4年度	合計
事業費	363,000	312,000	675,000

・消化タンク基本設計業務

・管理本館建築設備外改築実施設計業務

・送風機設備改築実施設計業務

② 水橋浄化センター 12,000 千円

・自家発電設備改築実施設計業務

③ 大沢野浄化センター 8,000 千円

・脱水機棟設備改築実施設計業務

④ 大山下水処理場 9,000 千円

・汚泥脱水設備改築実施設計業務

⑤ 神通川左岸流域下水道建設負担金 25,000 千円

・幹線管渠耐震化工事

・神通川左岸浄化センターストックマネジメント計画策定

(イ)ポンプ場の改築

100,000 千円

① 岩瀬汚水中継ポンプ場

83,000 千円

・防食(その2)・建築仕上・付帯設備更新工事(継続 R1～R3:3年目)

継続事業費

(単位:千円)

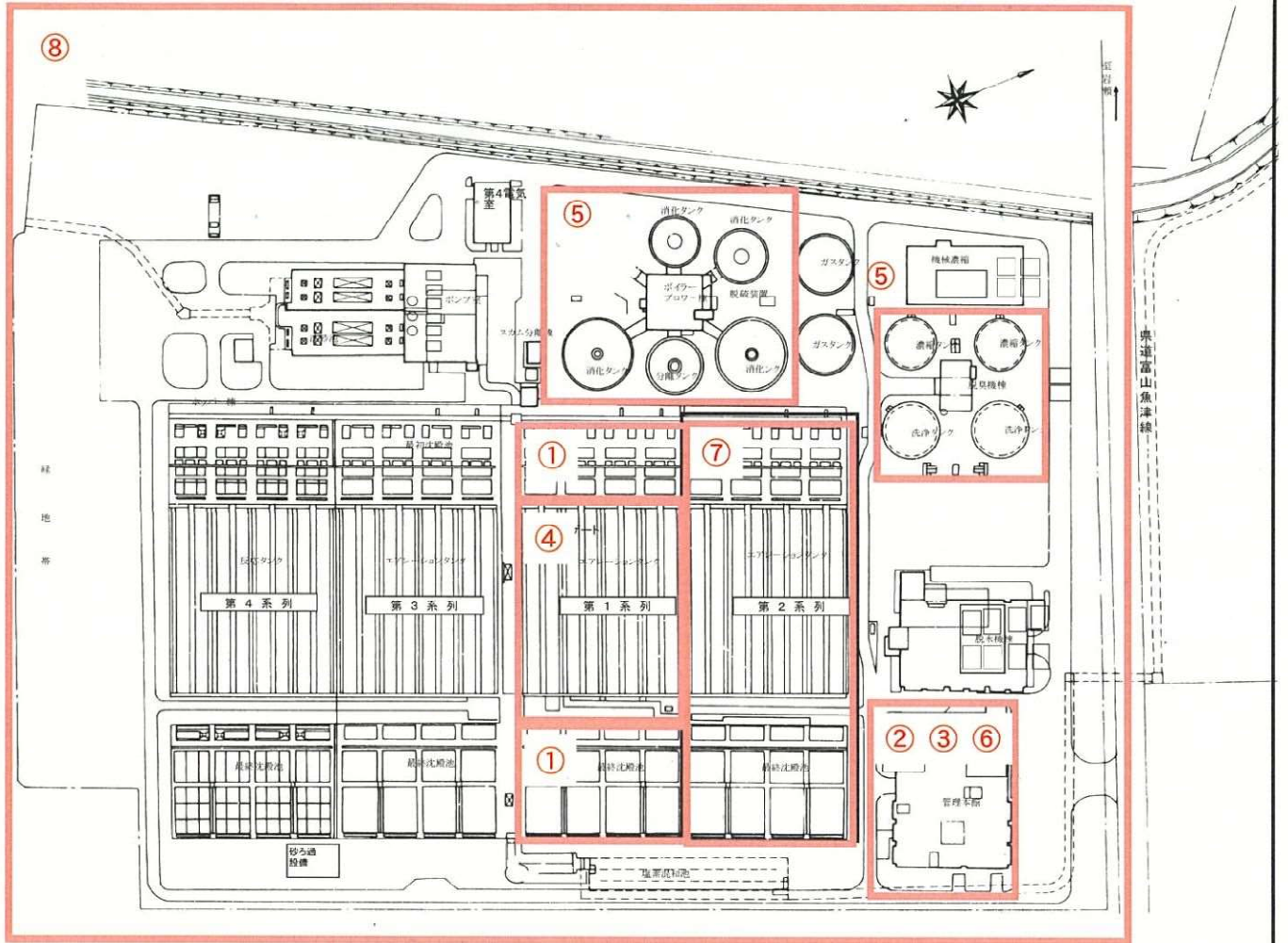
	R1年度	R2年度	R3年度	合計
事業費	7,000	44,500	80,000	131,500

② 速星雨水ポンプ場外

17,000 千円

・速星雨水ポンプ場外ストックマネジメント調査・計画策定業務

浜黒崎浄化センター計画図



□水質保全

- ① 第1系列水処理設備改築（その1）工事（R3, R4継続）
- ② 管理本館建築設備外改築実施設計業務委託
- ③ 送風機設備改築実施設計業務委託
- ④ 第1系列水処理施設躯体補修実施設計業務委託

□資源循環

- ⑤ 消化タンク基本設計業務委託

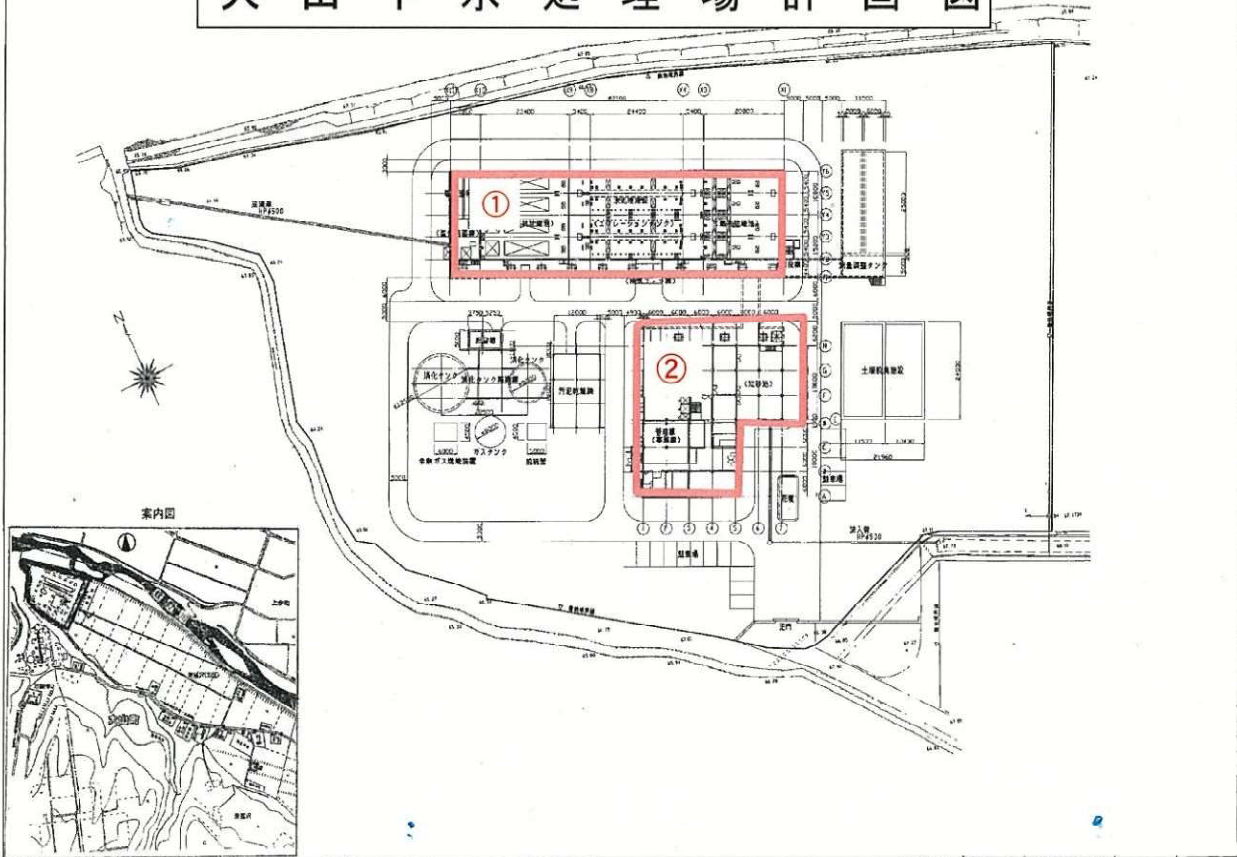
□防災対策の強化

- ⑥ 管理本館耐震化（その2）工事委託（R3, R4, R5継続）
- ⑦ 水処理施設耐震診断業務委託
- ⑧ 耐水化計画策定業務

凡 例

	令和元年度までに施工済み箇所
	令和2年度施工予定箇所
	令和3年度施工予定箇所
	令和4年度施工予定箇所
	令和5年度以降施工予定箇所

大山下水処理場計画図








□防災対策の強化

① 水処理施設耐震化工事委託

□資源循環形成

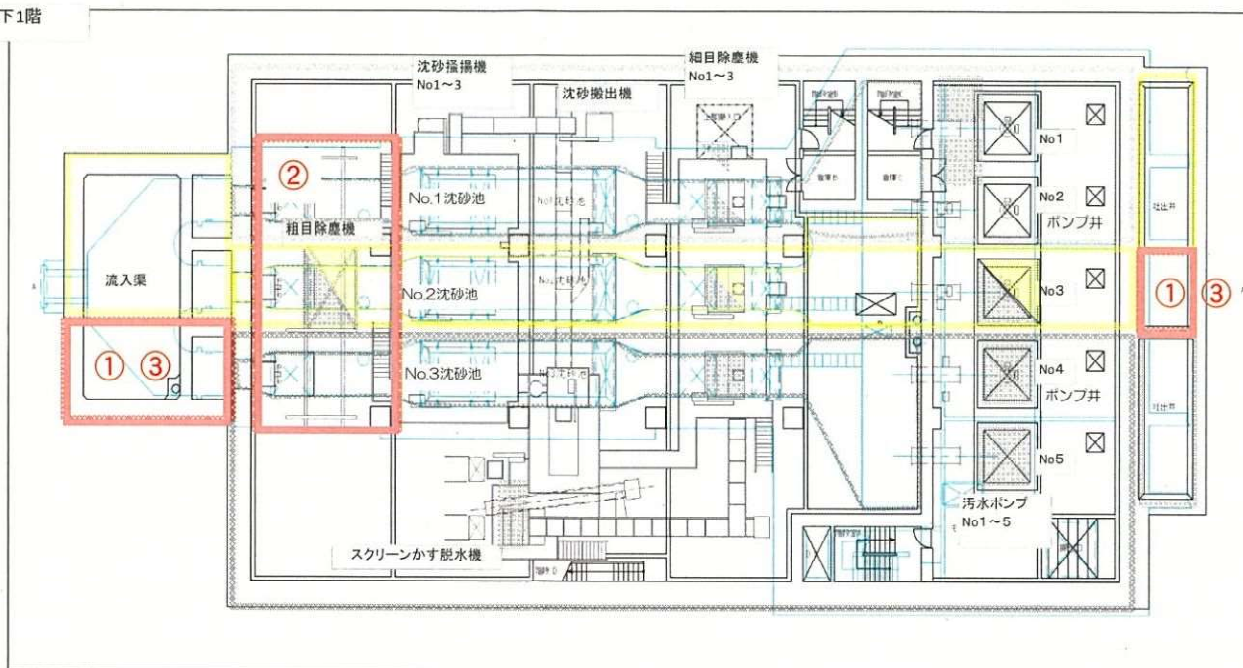
② 汚泥脱水設備改築実施設計業務委託

凡 例

	令和元年度までに施工済み箇所
	令和2年度施工予定箇所
	令和3年度施工予定箇所
	令和4年度施工予定箇所
	令和5年度以降施工予定箇所

岩瀬汚水中継ポンプ場計画図

地下1階



ポンプ場の改築

- ① 防食(その2)・建築仕上・付帯設備更新工事委託 (R1, R2, R3継続)
- ② 沈砂池設備改築実施設計業務委託

防災対策の強化

- ③ 耐震補強(その2) 工事委託 (R1, R2, R3継続)

凡 例

	令和元年度までに施工済み箇所
	令和2年度施工予定箇所
	令和3年度施工予定箇所
	令和4年度施工予定箇所
	令和5年度以降施工予定箇所

I 公共下水道(汚水)の整備

(3) 資源の循環

事業費	266,000 千円
(うち補助事業)	186,000 千円)

下水管渠を流れる汚水の熱エネルギーの活用に向けた工事を進めていきます。

令和3年度事業の概要

(ア)下水熱の活用

- ・いたち川第四処理分区下水熱導入工事
- ・いたち川第四処理分区下水熱導入工事(機械・電気設備)

(4) 処理場の統廃合と再編

事業費	360,000 千円
(うち補助事業)	323,000 千円)

将来にわたり安定的なサービスを提供していくため、公共下水道や地域し尿処理施設等の施設の統合を進めていきます。

令和3年度事業の概要

(ア)処理場の統廃合

- ・四方第一処理分区つばめ野一丁目地区管渠築造工事 650m
- ・倉垣浄水園外構工事

(5) 下水道整備困難地区の解消

事業費	487,000 千円
(うち補助事業)	78,000 千円)

生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図るために、整備困難地区の解消や開発等に伴う新たな下水道の整備を計画的に行います。

令和3年度事業の概要

(ア)未整備・整備困難地区の解消

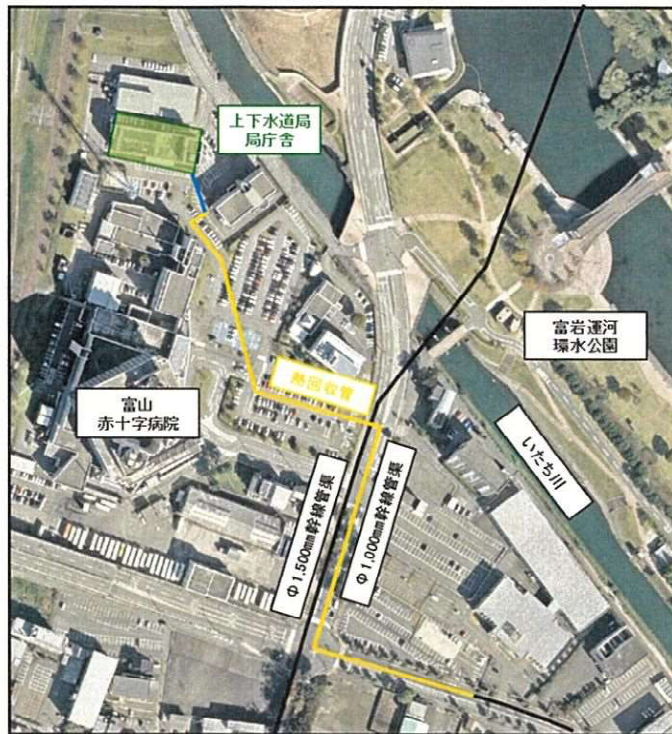
- ・富居処理分区新庄町地区管渠築造工事 400m
- ・富居処理分区鍋田汚水中継ポンプ所築造工事
- ・汚水中継ポンプ所遠方監視設備機能拡充工事
- ・不二越処理分区大泉地区下水管布設工事 230m
- ・本郷処理分区布市新町地区下水管布設工事 230m
- ・布設要望地区下水管布設工事 1,200m
- ・整備困難地区下水管布設工事 300m

いたち川第四処理分区下水熱導入工事について

【業務概要】

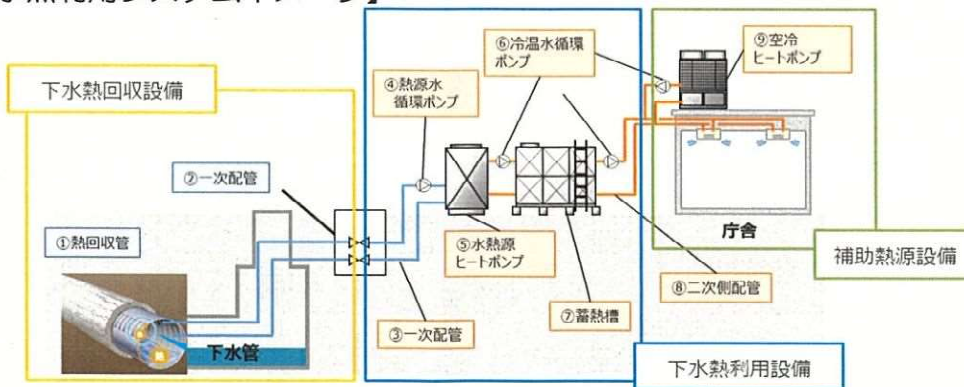
未利用エネルギーである下水熱を上下水道局庁舎における冷暖房に有効活用するため、平成28年度より基礎調査等を実施し、事業採算性が確認できたことから、導入に向けた工事を昨年度に引き続き行うもの。

年度	事業内容
平成28年度	基礎調査（流量、温度、夾雑物調査）
平成29年度	事業採算性検討（システムの概略検討及び選定）
平成30年度	基本設計（機器の詳細な仕様の検討、埋設物調査、概略図面の作成）
令和元年度	実施設計（発注用図面の作成、数量計算書の作成）
令和2年度	工事（下水熱回収設備（熱輸送管除く））
令和3年度	工事（下水熱利用設備類（熱輸送管含む））
令和4年度	供用開始



導入位置図

【下水熱利用システムイメージ】



下水熱回収設備	下水熱利用設備	補助熱源設備
社会資本整備総合交付金 (基幹事業) (補助率 1/2)	社会資本整備総合交付金 (効果促進事業) (補助率 1/2)	単独事業費

Ⅱ 公共下水道(雨水)の整備

(1) 雨水幹線の整備

事業費	778,000 千円
(うち補助事業)	698,000 千円)

過去の浸水履歴をもとに、浸水の危険性・浸水対策の効果等を整理し、計画的に雨水幹線等を整備することにより、浸水被害の低減を図ります。

令和3年度事業の概要

(ア)雨水幹線等の整備

	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度
管渠施工延長	330m	540m	330m
貯留施設整備数	2箇所	0箇所	1箇所
整備面積	19ha	8ha	21ha
都市浸水対策達成率	77.1%	77.2%	77.5%

(参考)全国の都市浸水対策達成率(R1年度末)

全国 都市浸水対策達成率	約60%
-----------------	------

※ 都市浸水対策達成率:大雨に対して安全である地区の面積の割合

①雨水管渠

・蓮町第二排水区米田町三丁目地区浸水対策工事	160m
・本郷第一排水区本郷第5雨水幹線築造工事	140m
・大沢野東排水区大沢野東第1雨水幹線築造工事	30m

②雨水貯留施設

・経堂排水区長江東町第2貯留池築造工事(継続R2~R3:2年目) $V=1,400\text{m}^3$

継続事業費

(単位:千円)

	R2年度	R3年度	合計
事業費	297,000	263,000	560,000

II 公共下水道(雨水)の整備

(2) 合流式下水道の改善

事業費	415,000 千円
(うち補助事業)	244,000 千円)

合流式下水道区域の浸水被害の軽減を図るため、排水能力の向上を目的とした管渠等の改築を計画的に実施します。

令和3年度事業の概要

(ア)合流式下水道の改善

① 浸水対策

410,000 千円

	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度
浸水対策 工事延長	80m	1,380m	410m

- ・松川第二排水区桃井町一丁目地区浸水対策工事
- ・松川第一排水区浸水対策等実施計画策定業務

410m

② 水質調査

5,000 千円

合流式下水道雨天時放流水現況調査業務

(3) 建設部による浸水対策事業

事業費	25,500 千円
(うち補助事業)	25,500 千円)

富山市浸水対策基本計画に基づき、下水道事業を活用した浸水対策事業を行うことにより、早期に浸水被害の低減を図ります。

① 浸水対策

25,500 千円

- 下富居排水区浸水対策土質調査業務
- 下富居排水区浸水対策実施設計業務

余 白

富山市公共下水道施工予定箇所図

(雨 水)

地震対策 (公共)

松川第一排水区 牛島雨水幹線築造 (φ1,100) L=170m

雨水管渠

松川第二排水区
桃井町一丁目地区浸水対策工事 φ300~1,000 L=410m

雨水管渠

蓮町第二排水区
米田町三丁目地区浸水対策工事 □700~900×800~1,200 L=160m

雨水管渠

下新第一排水区
下新川雨水幹線建設負担金 □3,500×1,700~1,800 L=20m

雨水貯留施設

経堂排水区
長江東町第2貯留池築造工事 V=1,400m³
長江東町第2貯留池排水ポンプ設備築造工事

雨水管渠

本郷第一排水区
本郷第5雨水幹線築造工事 φ1,650 L=140m

雨水管渠

大沢野東排水区
大沢野東第1雨水幹線築造工事 □4,000×2,500 L=30m

凡	例
○	令和元年度施工箇所
■	令和2年度施工箇所
■	令和3年度予算要求箇所
■	令和4年度以降施工予定箇所
—	認可区域
---	市街化区域
---	都市計画区域
—	下水道雨水対策対象地域
---	排水区域

Ⅲ 危機管理体制の強化

(1) 防災対策の強化

事業費	646,000 千円
(うち補助事業)	642,000 千円)

自然災害や事故などの危機発生に対して、迅速かつ的確に対応していくため、危機管理体制を整備し、被害の発生防止及び軽減を目指します。防災対策の強化として、地震時及び洪水時における下水道施設の被害を軽減するため、下水道施設の耐震化や耐水化を行います。

令和3年度事業の概要

(ア)下水道施設の耐震化	<u>638,000 千円</u>
--------------	-------------------

- ・岩瀬汚水中継ポンプ場耐震補強(その2)工事(継続R1～R3:3年目)

継続事業費 (単位:千円)

	R1年度	R2年度	R3年度	合計
事業費	115,000	138,500	95,000	348,500

- ・浜黒崎浄化センター管理本館耐震化(その2)工事(継続R3～R5:1年目)

継続事業費 (単位:千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	合計
事業費	55,000	66,000	38,300	159,300

- ・第一次緊急通行確保路線人孔耐震化工事 100箇所
- ・浜黒崎処理区管路施設耐震化診断業務
- ・松川処理分区諏訪川原幹線管路耐震化工事 230m
- ・松川第一排水区牛島雨水幹線築造工事 170m
- ・浜黒崎浄化センター水処理施設耐震診断業務
- ・大沢野浄化センター自家発電設備基本設計業務
- ・大山水処理場水処理施設耐震化工事
- ・水橋浄化センター機械棟耐震実施設計業務
- ・七軒町雨水ポンプ場耐震診断業務
- ・マンホールトイレ設置実施設計業務、工事

(イ)下水道施設の耐水化	<u>8,000 千円</u>
--------------	-----------------

- ・浜黒崎浄化センター外耐水化計画策定業務